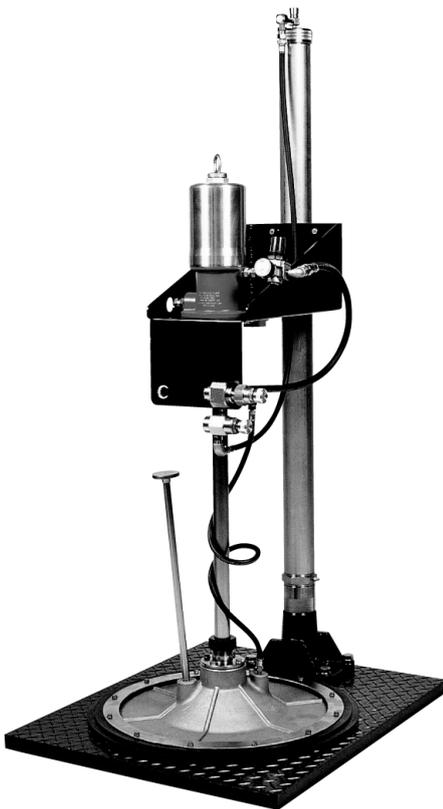


取扱説明書

110 型 (50×1) グリースドラムポンプ用 リフトユニットシリーズ

DR110A50AL ITEM No.880628
HPP110A50 ITEM No.880629
HPP110A50AL ITEM No.880630

DR110A50AL



HPP110A50



HPP110A50AL



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、エアリフト 110 型高性能エアパワードポンプを搭載したドラムグリース用の圧送ポンプです。配管を通して車両・建機のグリースアップをはじめ、あらゆる分野の各種機器・設備のメンテナンスに、また、生産ラインにおいて製品へのグリース充填用に最適のユニットです。本製品でご使用になれるグリースは、通常の使用状況下では NLGI No.3 程度までのグリースです。極寒、低温の状況下、または高粘度のグリースに使用した場合には、吐出量が著しく低下します。

本製品は、シリコングリースやグリース以外の液材（パテ、接着剤など）には、ご使用になれません。なお、シリコングリースをご使用になる場合は、シリコングリース仕様のポンプをご購入ください。また、ご使用のポンプでシリコングリースに変更される場合は、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

[使用環境・条件について]



- 洗浄の注意
ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取り扱いによっては引火・爆発の危険があります。



- よく読んでから使用してください
本製品を安全に正しくお使いいただくために、本書の内容を理解してから使用してください。本取扱説明書を紛失・損傷などした場合は、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。



- 取り扱い制限
本製品の操作者・管理者は、本書の内容を理解していない者に操作させないでください。



- グリースに触れないようにしてください
使用するグリースの種類によっては、発がん性物質が含まれるものがあります。グリースメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取り扱ってください。

警告

[使用方法について]

-  - 理解してから作業してください
作業中、危険を感じたり、異常に気がついたりしたときは作業を中断し、原因を取り除いてからやり直してください。
-  - 適用外使用禁止
本製品の仕様、規定された用途以外に使用すると、人身事故や物損事故の原因となります。製品仕様書に基づいて使用してください。

[分解および保守・点検について]

-  - 改造禁止
本製品を改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので、絶対に改造しないでください。
-  - エアを切ってください
エアを入れたまま保守作業を行うと、グリースが吐出するなどの恐れがあります。作業するときは、必ずエア源からの供給エアを遮断して装置を停止させてください。
-  - 消耗部品の消耗時間について
グリースの種類や運転状況により寿命に大きな違いがあります。本来の性能が著しく低下しているようであれば、部品を新品と交換してください。

注意

[使用方法について]

-  - グリースは高圧で吐出します
使用中、吐出口を人前に向けてガンレバーを操作することは、絶対に行わないでください。人体に直接当たると皮膚をキズつける恐れがあります。
-  - 最高供給エア圧力は0.7 MPaです
これ以上の圧力での運転は破損などによる人身事故・物的損害事故を招く恐れがあります。必ずエアレギュレーターによって0.7 MPa以下に調整してください。

[据え付けおよび配管について]

-  - 作業を中断してください
作業中、危険を感じたり、異常に気がついたりしたときは作業を中断し、原因を取り除いてからやり直してください。
-  - エアを切ってください
据え付けおよび配管作業をするときは、必ずエア源からの供給エアを遮断してから行ってください。
-  - 正しく設置してください
配管材、サイズなど注意事項に沿って適切な設置を行い、漏れや破損が発生しないように十分に注意してください。

[分解および保守・点検について]

-  - 本製品から排出されるグリースは、有害物となるものもあります。必ず容器に排出してください。地面などに直接排出しないでください。

[運転休止および保管について]

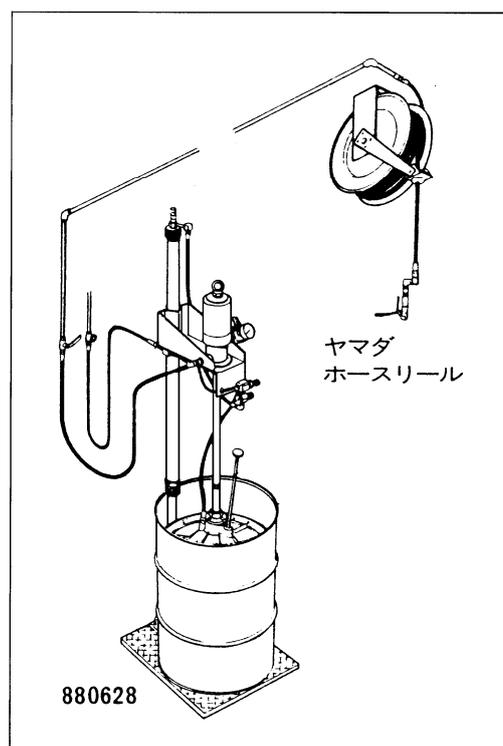
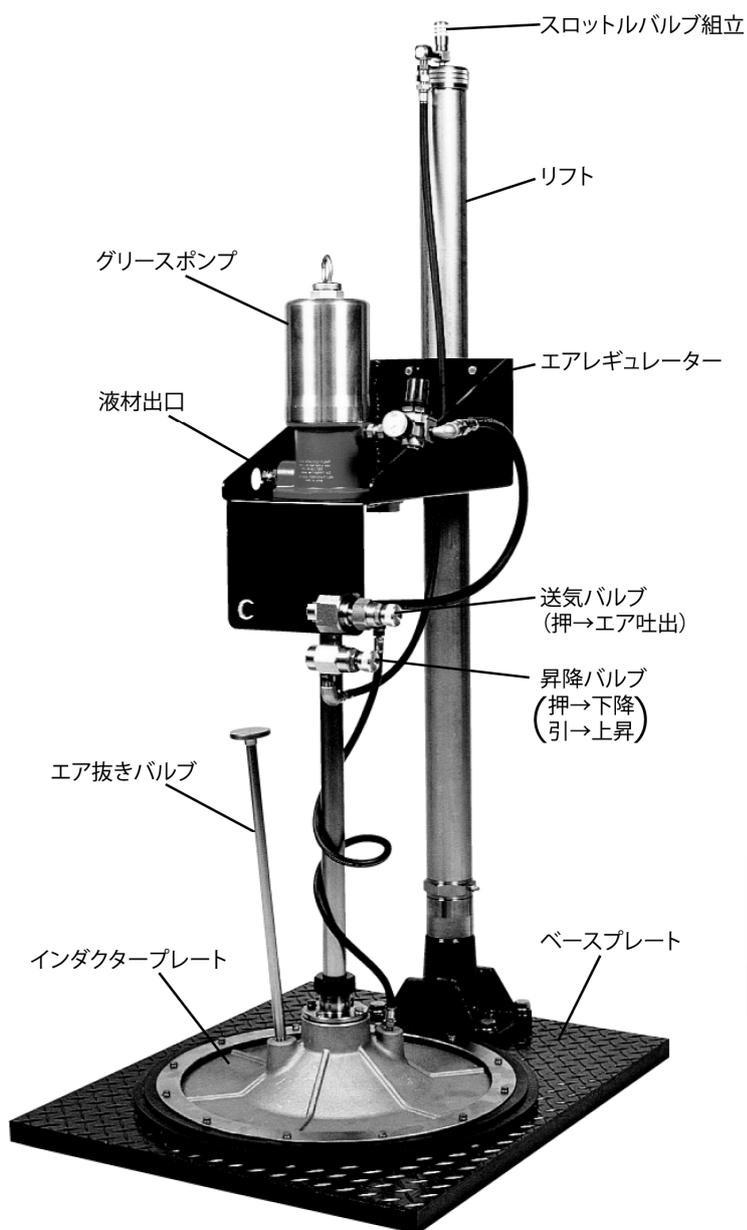
-  - 長時間（1週間以上）使用しない場合、または停止する場合
作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合には、必ずエア供給源を止めてください。また、吐出口バルブを開いてポンプ・ホース内の圧力を抜いてください。ホースの損傷やバルブの漏れにより施設を汚染させる可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	1
2. 取り扱い上の注意	1
3. 設置	
3.1 据え付け	2
4. 使用前の準備	3
5. ドラム缶のセット	3
6. グリースのエア抜き	4
7. 運転	4
8. 保守・点検	
8.1 保守・点検	4
8.2 故障の点検とその対策	4
9. 部品分解図・パーツリスト	5
10. 880629 HPP110A50	7
11. 880630 HPP110A50AL	7
12. 仕様	9
13. 外観寸法	9
14. 製品保証登録シート	10
15. 保証規定	11

● 取扱説明書 Doc. No.900274 「110 型 (50×1) グリースポンプ」も合わせてお読みください。

1. 各部の名称



使用例

2. 取り扱い上の注意

⚠ 注意



- 手などをインダクタープレートとドラム缶の間に挟まないよう、十分注意してください。

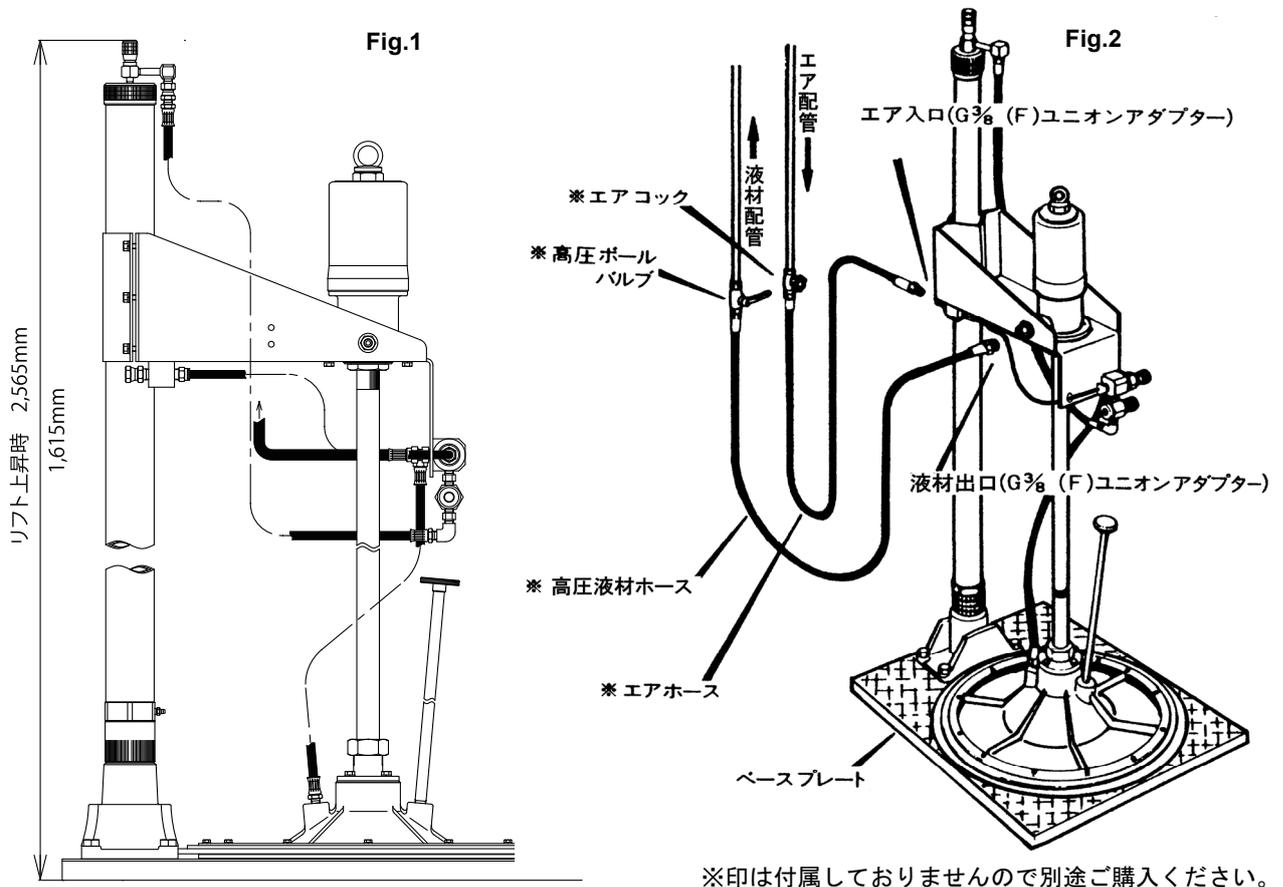


- ポンプへの供給エア圧力は、必ず 0.7 MPa 以下で運転してください。

3. 設置

⚠ 注意

- ❗ - エアホースを装置へ接続する前に、必ずエアレギュレーターを左（反時計方向）に回し、昇降バルブを「押」の位置にセットしてからホースを接続してください。
不用意にエアホースを接続すると、装置が作動し思わぬ事故になる場合があります。
- ❗ - リフトを昇降させるときは、体とリフトの間を十分離して操作してください。
絶対に手を入れないでください。
- ❗ - 本製品はリフト上昇時最大高さ 2,565 mm となります。設置の際は周囲の設備状況に注意してください。
- ❗ - 転倒などを防ぐため、エアホース・液材ホースはリフト上昇に見合う十分な長さの物をご使用ください。



3.1 据え付け

- 1) 装置の設置は、平坦で他の機器類に影響を及ぼさない場所（ポンプの排気により周囲に影響のない場所）を選んで据え付けを行ってください。
 - 2) リフトは最大高さ 2,565 mm まで上昇しますので、設置の際はリフトの昇降に支障のないことを確認の上、設置場所を決めてください。（Fig.1）
（床面の基礎工事は不要です）
 - 3) ユニットのエア入口に、エアホース（別売品）を接続します。エアホースは、エア配管または直接エアコンプレッサーに接続しますが、この接続部にはエアコックを取り付けておくとう便利です。（Fig.2）
 - 4) ポンプの液材出口（G $\frac{3}{8}$ ユニオンアダプター）に高圧液材ホース（別売品）を取り付け、配管または装置などに接続します。メンテナンスなどに便利ですので、液材ホースと配管の接続部には、高圧ボールバルブ（別売品）を取り付けてください。
- なお、常圧 35 MPa 以上の高圧ホースをご使用ください。

4. 使用前の準備

- 1) エアレギュレーターのハンドルを左に戻し、エアが供給されたときにポンプが「空打ち」しないようにしておいてください。
また、リフトの昇降バルブのボタンは押された状態（下降）にしてください。
- 2) 配管のエアコックを開きエアを供給してください。（供給エア圧：0.5～0.7 MPa）

5. ドラム缶のセット

- 1) 昇降バルブのボタンを手前に引くとリフトは上昇します。（Fig.3）
工場出荷時、スロットルバルブは全閉になっています。スロットルバルブを徐々に開き、リフトの昇降速度を調整してください。（Fig.4）

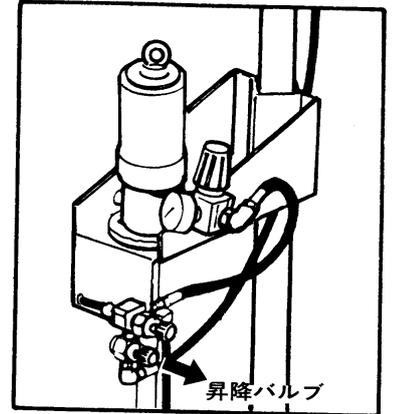


Fig.3

⚠ 注意


 スロットルバルブを開けすぎると、リフトの昇降速度が速くなり危険です。十分注意して操作してください。

- 2) インダクタープレートエア抜きバルブをねじ戻して取り外します。（Fig.4）
- 3) 液材の入った200Lドラム缶を、ベースプレート上、インダクタープレートの真下になるような位置に置きます。（初めてご使用になるときは、インダクタープレートのパッキンに潤滑油／グリースを塗ると容易に下降します）
- 4) 昇降バルブのボタンを押すとエアの逃げる排気音がして、しばらくするとリフトが下降し始めます。
- 5) 昇降バルブを操作しながらポンプを徐々に下降させ、インダクタープレートが、ドラム缶に正しく装着されるように、ドラム缶の位置を修正してください。

⚠ 注意


 このとき、インダクタープレートとドラム缶の間に手などを挟まないように注意してください。挟まれて思わぬケガをする場合があります。

- 6) インダクタープレートが正しく装着されたら、そのままリフトを下降させます。エア抜きバルブの穴から液材が出てきたら、手早くエア抜きバルブを取り付けて、確実に締めます。
- 7) Fig.5のようにインダクタープレートの内側にグリースが入った状態までエア抜きすることにより、以後エアが混入することがなくなります。
- 8) この状態でリフトは下降を停止します。（昇降バルブのボタンは押した状態にしておきます）

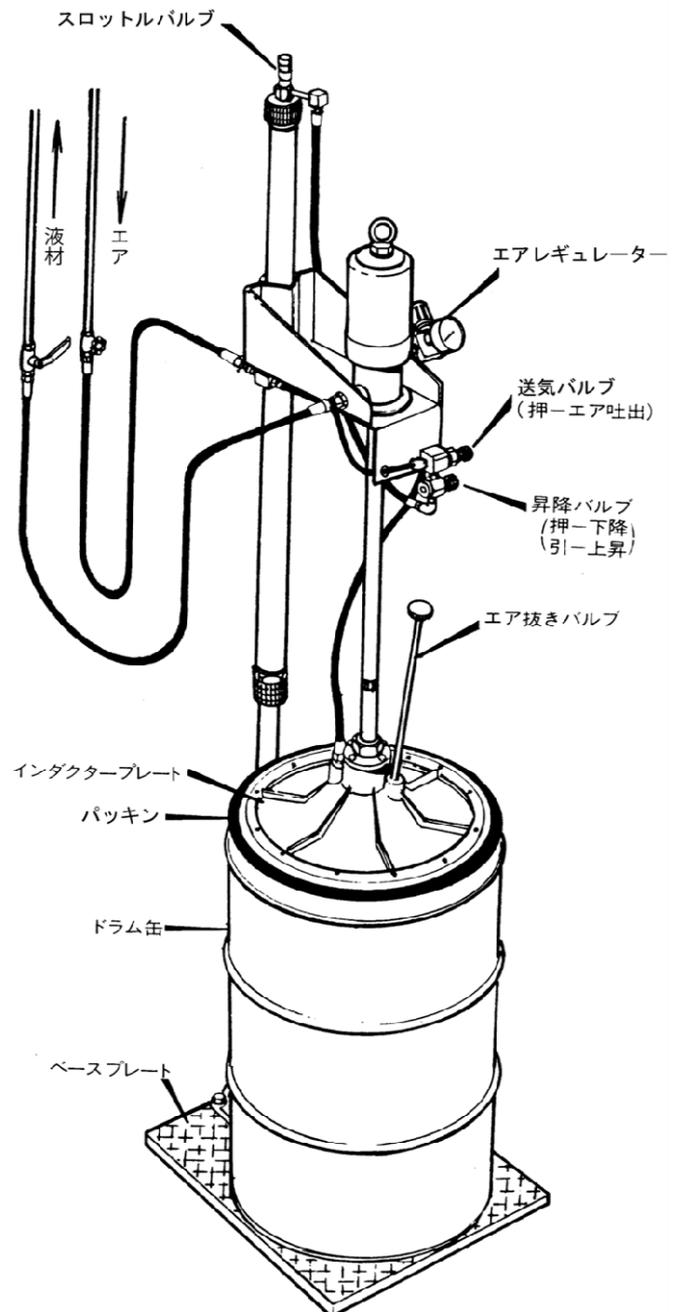


Fig.4

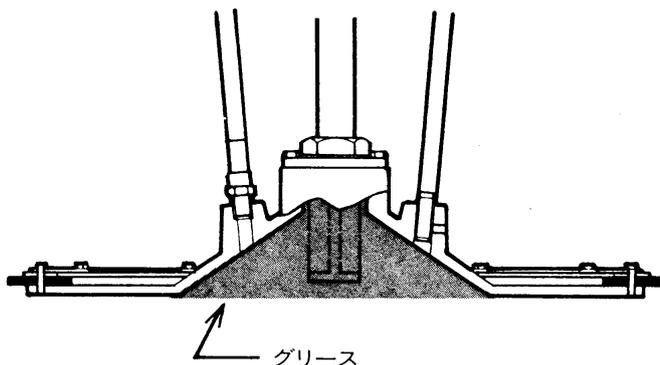


Fig.5

6. グリースのエア抜き

- 1) エア入口にエアを供給し、エアレギュレーターのカムをゆっくりと右に回し、ポンプを低圧 (0.2~0.3 MPa) で作動させます。
ポンプは暫く作動し、ホース・配管内に液材が充填すると自動的に停止します。
- 2) 出口バルブを開くと液材が吐出し、ポンプは再び作動を開始しますが、最初に吐出する液材には、ポンプ・ホース・配管内のエアが混入していますので、エアの混入した液材を吐出させてから使用してください。

■ドラム缶の交換

(液材がなくなったとき)

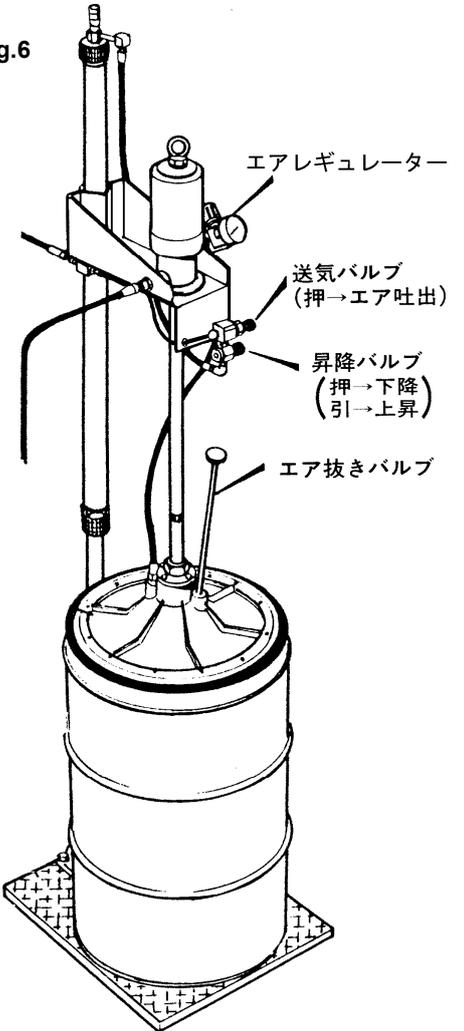
- 1) 液材がなくなるとポンプは空打ちをしますので、エアレギュレーターを戻し、ポンプへのエアの供給を止めます。
- 2) インダクタープレート付きのモデル 880628 DR110A50AL では、昇降バルブのボタンを手前に引くとリフトが上昇します。このとき、空のドラム缶がインダクタープレートに付いて上がりそうになるので、その都度、送気バルブ (Fig.6) を押してインダクタープレートとドラム缶を離してください。

⚠ 注意

!

- このとき、ドラム缶で足を挟まないように注意してください。

Fig.6



7. 運転

- 1) エアレギュレーターを操作し、ポンプへの供給エア圧を調整します。出口バルブを開いて液材の吐出量が作業に最も適した所でセットしてください。

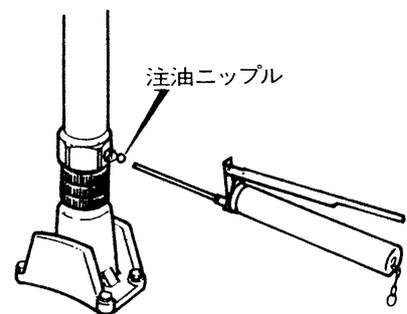
<NOTE>

エアレギュレーターのカムを左に回すと圧力は“0”になり、ポンプは作動しません。カムを右に回すと圧力は高くなり、ポンプの作動速度も増します。(一般的に供給エア圧が高くなれば、液材の吐出量も多くなります)

ポンプの始動圧力は約 0.2 MPa、最高使用エア圧力は 0.7 MPa です。必要以上に高いエア圧力でポンプを運転しないのがポンプを長持ちさせる秘訣です。

- 2) 出口バルブを開くとポンプは自動的に作動を開始、液材が吐出します。バルブを閉じれば吐出は止まり、ポンプも自動的に停止します。

Fig.7



8. 保守・点検

8.1 保守・点検

リフト下部に注油ニップルが装着してあります。定期的に、グリースまたはオイルを注油してください。(Fig.7)

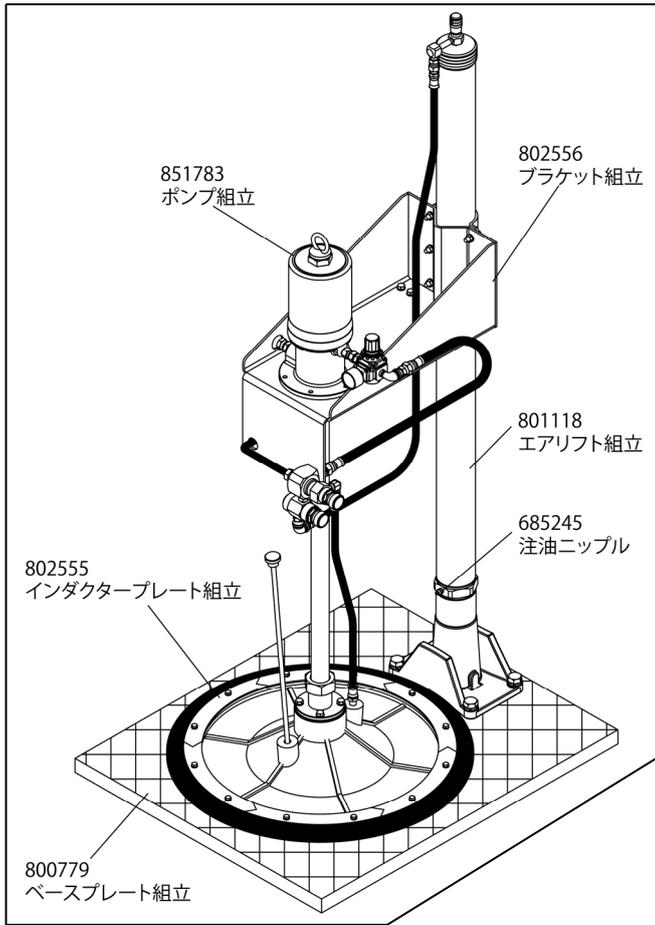
8.2 故障の点検とその対策

下記の故障診断チャートより故障原因、部位を判断して、必要以上の分解をしないでください。

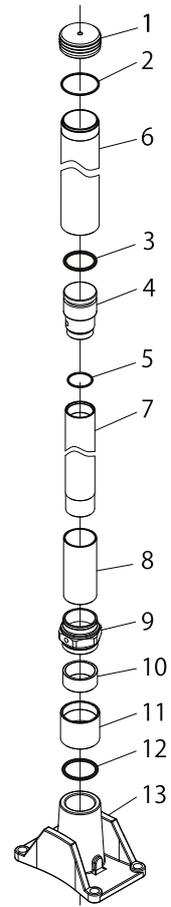
ポンプの故障については Doc. No.900274 「110 型 (50×1) グリースポンプ」の取扱説明書を参照してください。

状況	原因	対策
リフトが作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・供給エア圧力が不足していないか ・スロットルバルブが閉まりっぱなしになっていないか ・バルブ組立、スロットルバルブにゴミなどの詰まりはないか 	<ul style="list-style-type: none"> → 「7.運転」の項を参照 → 「5.ドラム缶のセット」の 1) の項を参照 → 「9.部品分解図」の項を参照
リフトが確実に昇降しない	<ul style="list-style-type: none"> ・供給エア圧力が不足していないか ・バルブ組立のパッキンなどが摩耗していないか ・リフトの故障 	<ul style="list-style-type: none"> → 「7.運転」の項を参照 → 「9.部品分解図・パーツリスト」の項を参照 → 「9.部品分解図・パーツリスト」の項を参照

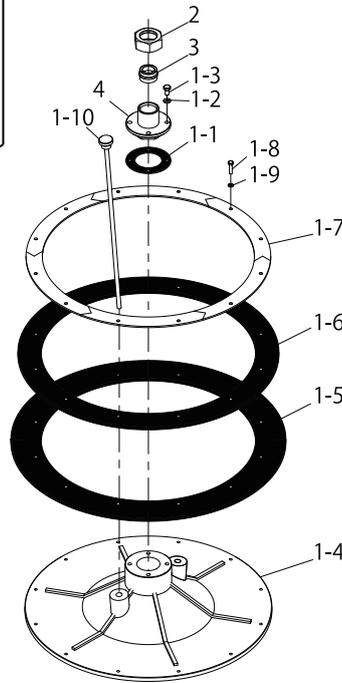
9. 部品分解図・パーツリスト



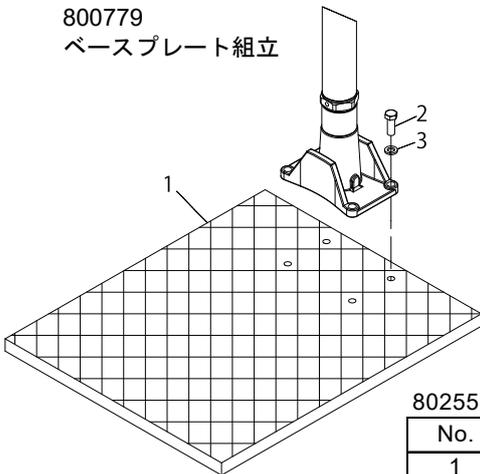
801118 エアリフト組立



802555 インダクタープレート組立



800779 ベースプレート組立



800779 ベースプレート組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	830357	ベース組立	1
2	611257	ボルト	4
3	631424	バネ座金	4

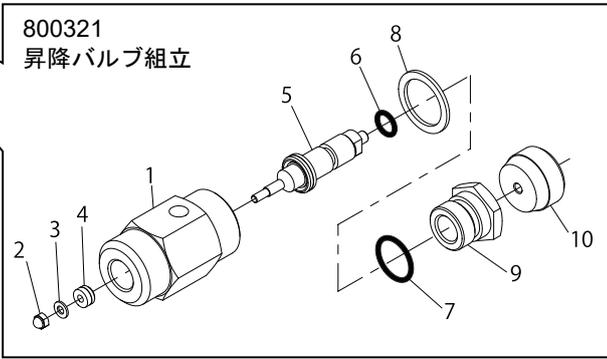
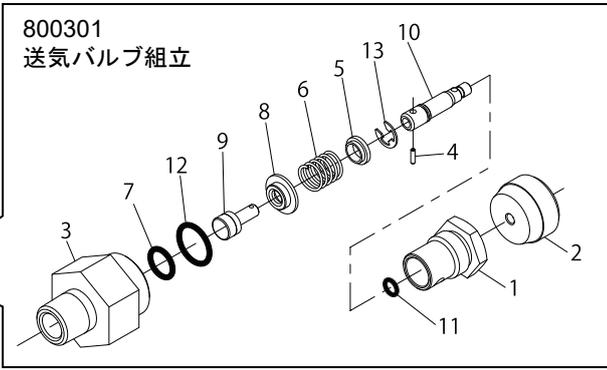
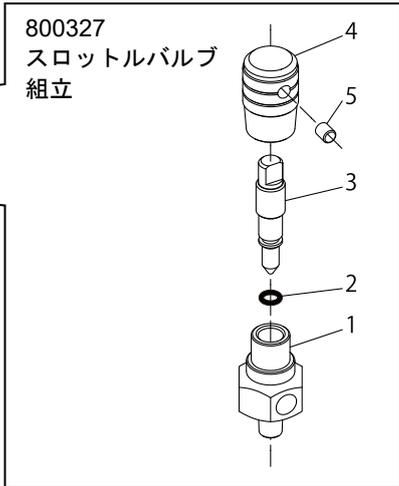
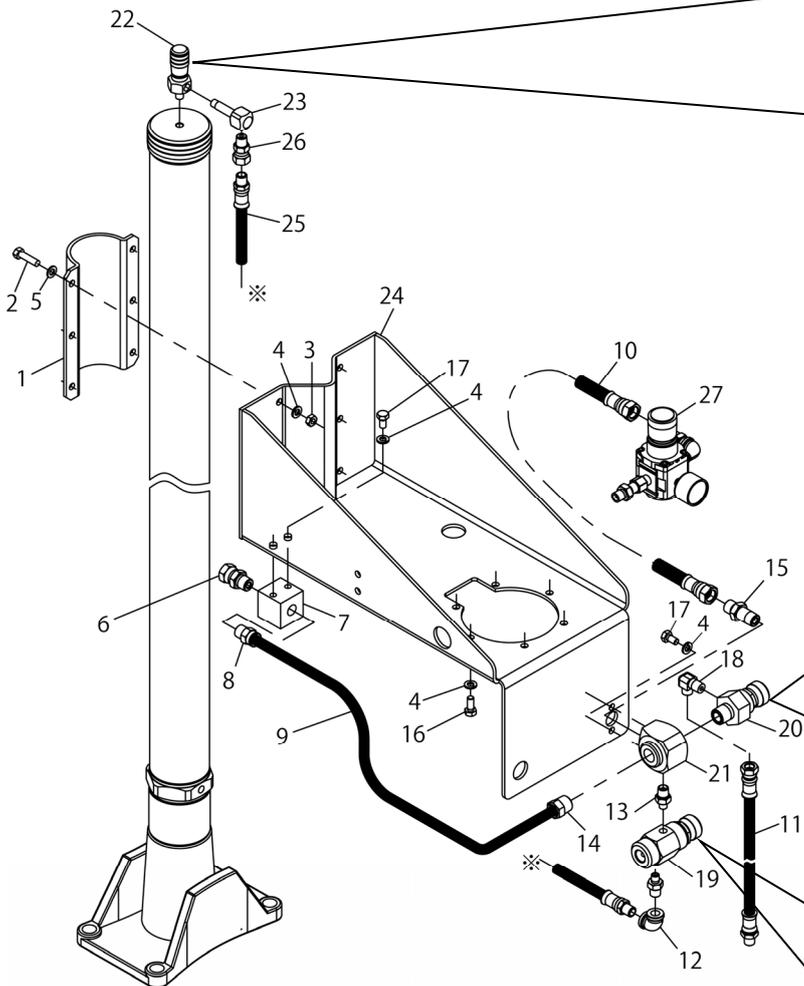
802555 インダクタープレート組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	800317	インダクタープレート組立	1
1-1	770116	パッキン	1
1-2	631420	バネ座金	4
1-3	611148	ボルト	4
1-4	703736	フォロープレート	1
1-5	770218	パッキン	1
1-6	770217	パッキン	1
1-7	710931	プレート	6
1-8	611103	ボルト	12
1-9	631418	平座金	12
1-10	830900	バルブロッド組立	1
2	685259	袋ナット	1
3	685258	スリーブ	1
4	710738	取付フランジ	1

801118 エアリフト組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	701167	キャップ	1
2	640139	Oリング	1
3	640052	Oリング	1
4	706413	ガイドヘッド	1
5	640134	Oリング	1
6	701160	シリンダー	1
7	701155	シリンダーガイド	1
8	701159	スペーシングチューブ	1
9	701158	リテーナー	1
10	701157	スリーブ	1
11	706414	袋ナット	1
12	640055	Oリング	1
13	705254	ベース	1

802556 ブラケット組立



802556 ブラケット組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	701146	ブラケット押え	1
2	611151	ボルト	6
3	627012	ナット	6
4	631420	バネ座金	15
5	631013	平座金	6
6	680109	ユニオンアダプター	1
7	705395	ユニオン	1
8	684524	フィッティング	1
9	570125	ナイロンチューブ	1
10	695042	エアホース	1
11	695027	エアホース	1
12	634001	エルボ	1
13	684017	ニップル	2
14	683817	メイルコネクタ	1
15	706593	ニップル	1
16	611145	ボルト	5
17	611143	ボルト	4
18	680677	エルボ	1
19	800321	昇降バルブ組立	1
20	800301	送気バルブ組立	1
21	701145	エアマニホールド	1
22	800327	スロットルバルブ組立	1
23	701754	エルボ	1
24	830703	ブラケット	1
25	695064	ホース組立	1
26	680080	ユニオンアダプター	2
27	802551	レギュレーター組立	1

800301 送気バルブ組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	701057	軸ガイド	1
2	701053	ツマミ	1
3	701056	バルブボディ	1
4	632752	スプリングピン	1
5	701059	バネ受け	1
6	701058	スプリング	1
7	640012	Oリング	1
8	701055	バルブシート	1
9	795003	パイロットバルブ	1
10	701054	バルブ軸	1
11	640005	Oリング	1
12	640016	Oリング	1
13	630780	E型止め輪	1

800327 スロットルバルブ組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	701192	バルブ本体	1
2	640003	Oリング	1
3	701189	バルブ軸	1
4	701191	ツマミ	1
5	610024	六角穴付止めネジ	1

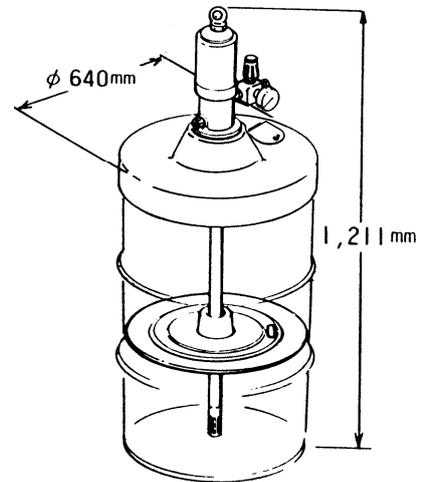
800321 昇降バルブ組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	701151	バルブボディ	1
2	630260	袋ナット	1
3	701152	座金	1
4	795010	排気弁ボディ	1
5	795011	吸気弁ロッド	1
6	640008	Oリング	1
7	640018	Oリング	1
8	701153	座金	1
9	701154	リテーナー	1
10	701053	ツマミ	1

10.880629 HPP110A50

ドラムカバー、フォロープレートで構成されています。フォロープレートを液材の表面に密着させ、液材が汲み上げられる際に生じるプレートの吸着力によって、液材をフートバルブの回りに集めてポンプのサクシオンを助けます。比較的粘度の低いグリース NLGI No.0~1 程度に適しています。

- 1) ドラムカバーに付属のビス・ナットでポンプを取り付けてください。
- 2) 新しい 200 L ドラム缶を準備し、ドラム缶の蓋を取ってからグリースの表面に付属のフォロープレートをセットしてください。
新品のフォロープレートの場合は、エアポケットができないように下記のどちらかの作業を行ってください。
 - ・フォロープレートを強く押しつけて、グリースがセンターの穴から出るまで確認する。
 - ・手でフォロープレートのセンターの凹内部にグリースを充填する。
- 3) ポンプのサクシオンチューブがフォロープレートの中央の穴を通過するように注意しながら、ドラムカバーが完全にドラム缶に蓋をすることを確認してください。



880629 HPP110A50

11.880630 HPP110A50AL

エア作動式のシングルリフト（加圧式ではない）、ドラムカバー、フォロープレートで構成されています。リフトの操作により、ドラム缶の交換が容易に行えます。フォロープレートを液材の表面に密着させ、液材が汲み上げられる際に生じるプレートの吸着力によって、液材をフートバルブの回りに集めてポンプのサクシオンを助けます。比較的粘度の低いグリース NLGI No.0~1 程度に適しています。

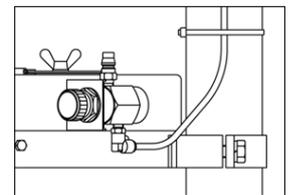
リフトの操作に関しては「5.ドラム缶のセット」の項を参照してください。

⚠ 注意

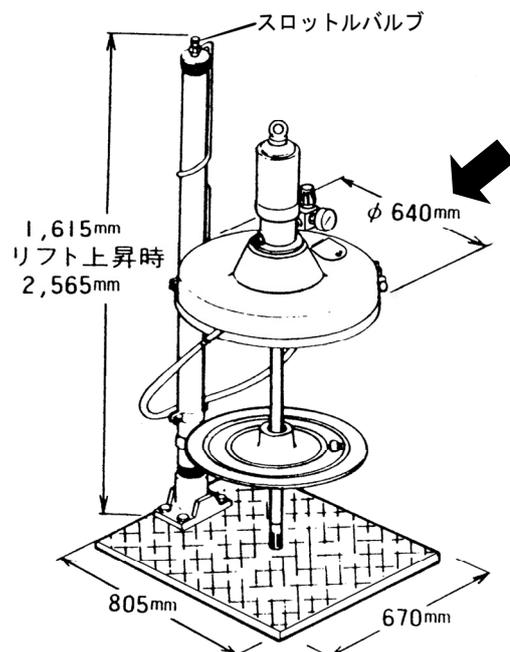


- 下降時にドラムカバーとドラム缶の間に手などを挟まないように注意してください。

- 1) 新しい 200 L ドラム缶を準備し、ドラム缶の蓋を取ってからグリースの表面に付属のフォロープレートをセットしてください。
新品のフォロープレートの場合は、エアポケットができないように下記のどちらかの作業を行ってください。
 - ・フォロープレートを強く押しつけて、グリースがセンターの穴から出るまで確認する。
 - ・手でフォロープレートのセンターの凹内部にグリースを充填する。
- 2) ポンプのサクシオンチューブが、フォロープレートの中央の穴を通過するように注意しながらリフトを下降させ、ドラムカバーが完全にドラム缶に蓋をすることを確認してください。

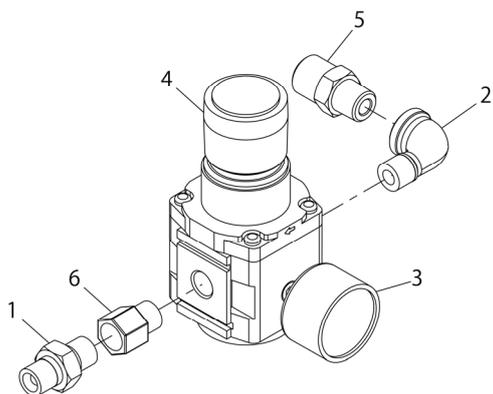


矢視(昇降バルブ部)

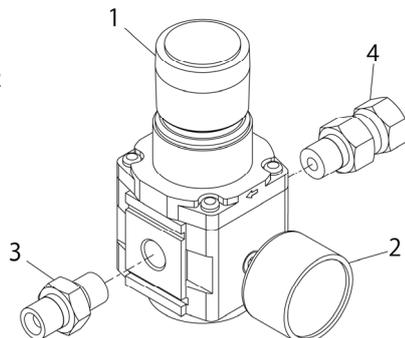


エアレギュレーター

802551



802552



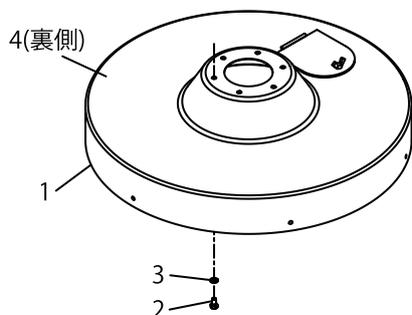
802551 エアレギュレーター

No.	部品番号	部品名称	員数
1	680294	ニップル	1
2	634031	エルボ	1
3	682924	圧力計	1
4	680454	レギュレーター	1
5	682181	ニップル	1
6	687371	ブッシュ	1

802552 エアレギュレーター

No.	部品番号	部品名称	員数
1	680454	レギュレーター	1
2	682924	圧力計	1
3	680294	ニップル	1
4	680080	ユニオンアダプター	1

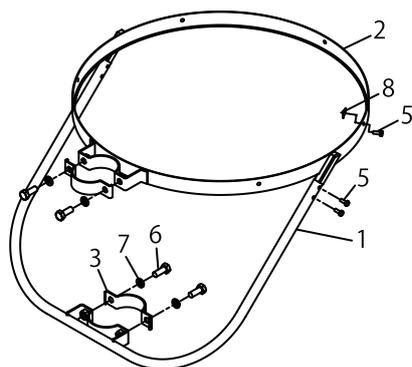
800412 ドラムカバー組立



800412 ドラムカバー組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	830135	カバー組立	1
2	611143	ボルト	6
3	631420	バネ座金	6
4	770157	パッキン	8

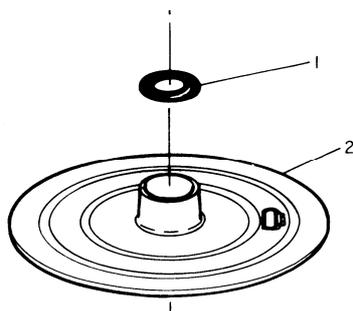
801120 ドラムリング組立



801120 ドラムリング組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	830642	指示アーム組立	1
2	830643	リング組立	1
3	705257	ブラケット	2
5	611099	ボルト	9
6	611197	ボルト	4
7	631422	バネ座金	4
8	631793	スピードナット	5

800413 フォロープレート組立



800413 フォロープレート組立

No.	部品番号	部品名称	員数
1	770190	パッキン	1
2	830134	フォロープレート	1

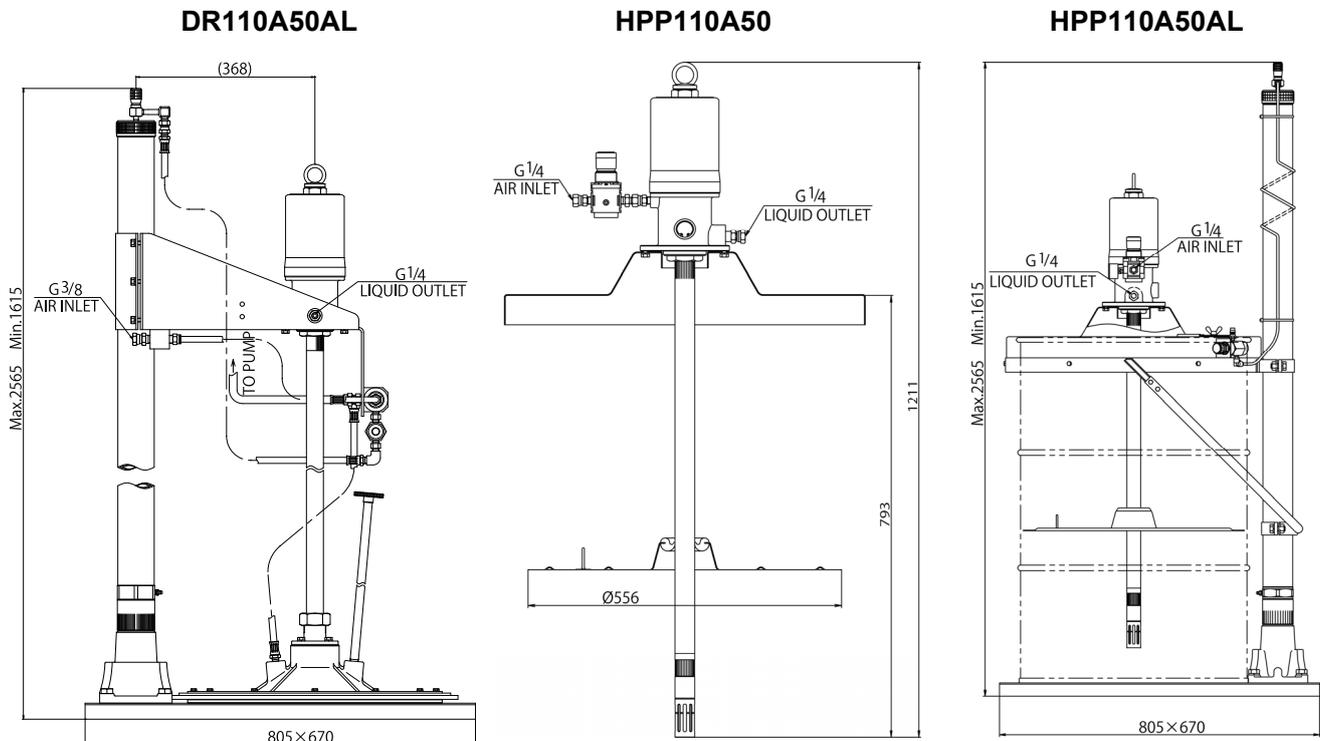
12.仕様

製品番号	形式	容量	使用エア圧	主な構成部品	質量
880628	DR110A50AL	ドラム缶	0.2~0.7 MPa	851783 DR110A50(50×1)ポンプ 801118 エアリフト組立 802555 インダクタープレート組立 802556 ブラケット組立 800779 ベースプレート組立	約 105 kg

製品番号	形式	容量	使用エア圧	主な構成部品	質量
880629	HPP110A50	ドラム缶	0.2~0.7 MPa	851783 DR110A50(50×1)ポンプ 800412 ドラムカバー組立 800413 フォロープレート組立 802552 エアレギュレーター	約 21 kg

製品番号	形式	容量	使用エア圧	主な構成部品	質量
880630	HPP110A50AL	ドラム缶	0.2~0.7 MPa	851783 DR110A50(50×1)ポンプ 800412 ドラムカバー組立 800413 フォロープレート組立 802552 エアレギュレーター 800779 ベースプレート組立 801118 エアリフト組立	約 102 kg

13.外観寸法



14.製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。(フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。)

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店	製品名（型式）																													
	製品番号																													
	SERIAL No.																													

※個人情報 は 当社の個人保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

15.保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202602.2929 900087